

福島市市民活動サポートセンター



ふくサポの
広報大使
サポわんでーす

ふくサポ通信

2021年若草号
vol.96



にゃんこ隊長です

<https://www.f-ssc.jp>

にゃんこ隊長が行く！

福島就労支援センター

～知識で広がる未来～

福島就労支援センターは、就労支援や職業紹介に関する事業を行い職業能力の推進に貢献することや交流事業で地域活性化を目的としている団体です。

事業を統括する原さんは、JICAの活動でアフリカ・モザンビークの専門学校でパソコンを教えていました。途上国の皆さんが協力して生活している姿や「奉仕をすることが自分たちの幸せになる」という価値観に共感したことがNPOを設立するきっかけになったそうです。その後、東日本大震災を経て福島の復興の一環として働く人の力になれないかと考え、パソコン技術指導や資格取得ができる場として2015年12月に団体を設立しました。

福島就労支援センターは、復興支援の他に「日本の少子高齢化、働き手がない現状を解決する手段としてIT技術サポートと外国人労働者を支援することが必要だ」と当時から警鐘を鳴らしていました。これらの課題解決のためにパソコン教室まなびや子ども向けにプログラミング授業を行っています。ITの普及による人手不足の解消と、ITの技術を持った人を増やすことが目的となっています。子ども達が大人になった時にここで培った技術でロボットを使いこなし、活躍できるように授業を行っています。

また、日本で働く外国人に言葉やマナーを教える活動を行い、日本の仕事や生活で安心感を持ってもらえるようにサポートを行っています。その他の取り組みとして、女性の就労問題についての活動を行っています。

キャリアカウンセリングや職場の人間関係の相談など、職場でお困りの方や福島市での求職を希望されている方からの相談にも応じています。

原さんは「今困っている人への活動と、未来の子ども達が将来困らないようにという想いで活動しています」と締められました。周りで困っている方や地域の問題に対して真摯に向き合っている姿が印象的でした。

「お問い合わせ先」

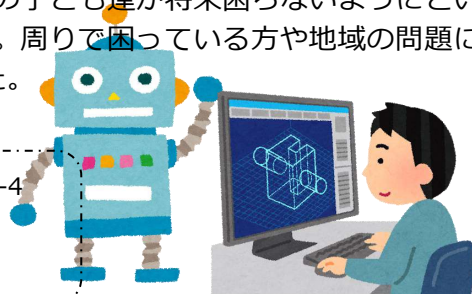
〒960-0116 福島県 福島市宮代宝田前2-4
Tel : 070-4419-8412
Mail : kohei-hara@npo-fssc.org



【パソコン教室や学習支援の様子】



【事業を統括する原さん】



新年度にあたり、管轄課課長及び弊NPOの理事長よりご挨拶申し上げます。

福島市 政策調整部 地域共創課課長挨拶



～新任のご挨拶～

梅宮 裕志

この4月から地域共創課長に着任しました、梅宮裕志でございます。皆様には多種多様な市民活動、まちづくり活動などを通して地域の活性化に寄与いただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、福島市は、昨年度、これまでの「協働のまちづくり」を基本としながら、その考え方をさらに進化させた「福島市共創のまちづくり推進指針」を策定いたしました。

この「市民との共創のまちづくり」においては、市民一人ひとり、団体、企業、学校、地域、行政等の様々な主体が連携を強化し、新たな市民ニーズに対応し、地域としての新たな魅力や価値を共に創り上げていくことが求められており、これまで以上に各団体の皆様との関わりが重要となっております。

特に、本市の市民活動の拠点となっている福島市市民活動サポートセンターについては、団体への各種支援に加え、「共創のまちづくり」の基本となる団体間の連携づくり等、ますますその役割への期待も高まっているものと認識しております。

結びに、今年度においても、助成金による支援や有用な情報提供・発信に努め、皆様の活動や交流がさらに活性化するよう創意工夫してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ふくしまNPOネットワークセンター理事長挨拶



コロナ禍と市民活動—新年度を迎えて

牧田 実

昨年2月、横浜港に到着したクルーズ船での患者発生報道に端を発し、日本もそして福島も新型コロナウイルス感染症の拡大に怯え続ける1年となりました。そして現在もなお終息の気配がまだまったく見えていないなかで、「復興五輪」の旗印どころではなくなった東京オリンピック・パラリンピックが見切り発車を余儀なくされました。

外出自粛、三密回避、ソーシャル・ディスタンス（対人距離）の確保などが要請されるこのコロナ禍にあって、対人サービスや人との関係を基本とするNPOや市民活動団体の活動もまた多くの困難を抱え込むことになりました。イベントや活動の自粛、助成金や委託の打ち切り、普段の活動の停止や団体運営の行き詰まりなど、福島市もまた例外ではありません。コロナ禍は、一方で失業や貧困、家ごもりのストレスによる家庭内暴力・児童虐待の増加など、本来NPOが対応すべき多くの問題を引き起こしてもいます。社会的なニーズが高まり、目の前に手を差し伸べるべき人がいるにもかかわらず、手足を縛られ動くことができない—そんなジレンマに引き裂かれている団体も少なくないでしょう。

そうした困難のなかであって、新年度が幕を開けました。少しずつしかし機会を逃さないように、それぞれの立場で自分たちにできることをやる—これはある意味NPOや市民活動団体の原点なのかもしれません。そうした団体のみならずの少しでもお役に立てるふくサポでありたいと思っています。

東日本大震災から10年の時が経過し、NPO等への期待も大きくなり、ニーズもめまぐるしく変わり多様化しています。日々の皆さんの頑張りに寄り添える「ふくサポ」となれるよう努力してまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

福島市市民活動サポートセンター 所長

令和3年度福島市市民活動活性化支援事業補助金

団体募集!

社会貢献活動を行う市民活動団体を応援します!!

今年度も市民活動活性化支援事業の募集が開始されました。この事業は、市民活動のさらなる発展のため、自主的、自発的に社会貢献活動を行う市民活動団体に対し補助金を交付するものです。

さて、今年度の募集については、例年に引続き、新たに「事業連携コース」が設置され3コースの展開となり、対象団体の設立年数要件も緩和されました。複数団体で取り組む事業を予定しているみなさんは連携コースにチャレンジしてみたいかがでしょうか。

補助金交付の決定は7月上旬頃になりますので、秋からの事業やイベントなど、活動の発展のため申請をしてみたいかがでしょうか。なお、申請にあたり事前相談が必要です。夜間相談(予約制)も受付けております。地域共創課及び市民活動サポートセンターで随時受け付けいたしますので、お気軽にご相談ください。

補助制度の内容

	市民活動スタート部門	市民活動活性化部門	
		事業発展コース	事業連携コース
目的	設立間もない団体の組織基盤強化を促進する	市民活動の継続性の向上と活性化を促進する	複数団体で取り組む連携事業を促進する
対象団体	<ul style="list-style-type: none"> 補助の要件を満たす団体 (要項参照) 平成30年4月1日以降設立の団体 	<ul style="list-style-type: none"> 補助の要件を満たす団体 (要項参照) 	<ul style="list-style-type: none"> 複数団体が連携した主催 代表団体及び連携団体で構成された主体 代表団体及び連携団体それぞれが補助の要件を満たす主体 (要項参照)
対象事業	団体の組織基盤強化に関する活動	団体の目的達成のために新たに行う、又は既存事業を拡大・発展させる事業等	複数団体で連携して取り組む必要があり、社会や地域の課題改善、
補助率	補助対象経費に対して 10/10以内 (上限15万円)	補助対象経費に対して 2/3以内 (上限30万円)	

★募集締切5月28日(金) 午後5時15分必着

お問合せ：福島市政策調整部 地域共創課 TEL 024-525-3731 (直通)

E-mail : katsudo@mail.city.fukushima.fukushima.jp

アートさをり リニューアルオープン!

認定NPO法人えんじょいらいふ福祉会「アートさをり」は4月1日より従来からの就労支援型B型に加え、新たに生活介護の多機能型事業所として運営を開始しました。1階にはB型、2階には生活介護とそれぞれに作業スペースや事務所などが設置され、利用者さんや保護者の方にとっても、大変充実した安心して通える施設となっています。



[明るく清潔感のある店内]



また、さをり織りの小物を販売しているART SAORI PLUSはおしゃれな店内と生まれ変わり、一面に「カルムコーヒー」がオープンしました。1杯ずつ丁寧にいれた挽きたてコーヒーやカフェラテを味わうことができます。クリエイターの感性が光る色とりどりの小物に囲まれながら頂くコーヒーはまた格別です。一度足を運んでみてはいかがでしょう?

「お問い合わせ先」 認定NPO法人えんじょいらいふ福祉会「アートさをり」法人本部兼生活介護 024-573-9400

～ふくサポ おすすめの逸品～

～Part7～

つつい不足しがちな野菜をたっぷり食べたい、そんな方必見。今回は野菜を満足いくまでいただける「Café桑の実」のランチビュッフェをご紹介します。

店内は、木目調のインテリアで落ち着いた暖かい雰囲気、Caféでビュッフェスタイルのランチが楽しめる女性客に大人気です。

ランチビュッフェは、パスタやご飯ものからメインを選んで、新鮮野菜のサラダ、スープ、野菜中心のお惣菜、デザート、ソフトドリンクなど約30種類が時間無制限の食べ放題です。(1,450円)

「野菜そのものの味をおいしく味わってほしい」とそんな思いで始めた旬の野菜を使ったメニューは、いろんな調理法で素材の味を引き出しています。オープン当初から人気のごぼうのフリッターや人参サラダは、野菜が苦手なお子様からも美味しいと好評で、それを目当てに来るリピーターも多いそうです。食後は季節や日によって変わる手作りスイーツに、こだわりの珈琲又は紅茶を楽しめます。

レシピを知りたいお客様には気軽に教えているそうです。自宅で桑の実の味にチャレンジしてみたいでしょうか。

また、ロコモコやドライカレーなど日替わりお弁当のテイクアウト(680円)とデリバリー(700円)も人気で、こちらも野菜たっぷりのお弁当になっています。(お弁当はAM10:00までにお電話で注文してください)

Café桑の実「NPO法人 天使の唄」が運営しています。理事長の阿部さんは「個性や性格、得意なこと違う障がい者が、分け隔てなくのびのびと働けるCaféを作りたい」と設立の思いを語ります。

心も身体も癒されるCafé桑の実で、たっぷり野菜のヘルシーランチを味わってみてはいかがでしょうか。



【体に優しいメニューの数々】



【おしゃれな入口と落ち着いた雰囲気の店内の様子】



「お問い合わせ先」

就労継続支援A型事業所 Café桑の実

住所：福島市笹谷字上成出5 笹谷プラザビル

TEL：024-563-1310

営業時間：11:00～14:00 定休日：土・日・祝日



編集後記

- ・ 日帰り温泉の露天風呂の脇のフキノトウがタンポポの花に変わった！（ふかちゃん）
- ・ 状況が目まぐるしく変わるバタバタのスタート。少し慣れたこの頃？（マータン）
- ・ 桜、菜の花、チューリップ、つつじ、間もなく紫陽花が！良い季節です（^^♪（みー）
- ・ 新緑の季節、自粛しながら静かにドライブを楽しみたいと思います。（ヒロ）
- ・ 間もなく梅雨に突入。四季を感じる水滴が光ってみえます。うーん20点！（井）
- ・ 家の庭でキャンプ気分を味わう準備を進めています。目指せゆるキャン。（え）

福島市市民活動サポートセンター「ふくサポ通信」2021年若草号 vol.96

発行日／2021年 4月30日 編集／認定特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター
 発行／福島市市民活動サポートセンター 〒960-8041 福島市大町4-15 チェンバおおまち3階
 TEL 024-526-4533 FAX 024-526-4560 URL <http://www.f-ssc.jp> MAIL f-ssc@bz01.plala.or.jp